

小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

山口市立良城小学校

学習環境の整備

学習形態の工夫や多くの人で見守る体制など、きめ細かに子どもたちを見守る環境をつくる。

学習習慣や生活習慣の定着



国語科（音読）
1つ1つの指導を
ていねいに行い、
「できた」「楽し
かった」が、感じら
れるようにする。

生活科
「どうぞよろしく」
（名刺交換）
クラスにも友達に
も慣れていきます。



成 果

- ・スタートカリキュラムにより、学習内容を合科的に捉え、学習へのハードルを下げて、新しい環境に慣れていくことができた。
- ・少人数での指導により、きめ細かな支援や学習習慣、生活習慣の定着が図れた。

さまざまな交流による学びの充実



昔の遊び
保護者や地域の方から昔遊びを
教えてもらい、体験を深めます。

2年生との生活科での交流
幼保小の交流にもつながって
います。



図書ボランティアによる読み聞かせ
保護者による読み聞かせは、
落ち着いて聞く力を育てます。

成 果

- ・上学年や保護者、地域の大人たちとの交流体験を通して、様々な年齢層の人との関わり方を覚えたり、集団での行動のあり方を学んだりすることができた。
- ・いろいろな人に優しく接してもらった体験は、自分も周りの人に優しく接していこうとする心を育むことにつながる。

小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

山口市立平川小学校

幼保・小の連携の充実

・幼児期からの学びと育ちを生かす活動や環境を意図的に設定し、子どもが自信や意欲を持って活動し、自己発揮できるようにする。

具体的な取組の内容(1)

1日の流れをわかりやすく提示した。

テーマ (低・中・高学年の共通)	日	行事	朝の活動 7:40~8:10	朝の時間 8:10~8:30	1 8:30~9:15	2 9:20~10:05	3 10:10~11:10
学校には、どんな場所 にどんなものがあるのか を学ぶ。学校生活のルール を学ぶ。	9月	入学式			入学式・学級活動		
・学校の生活時間に慣れ ていくようにする。	10月	入学式	①登校してきた子ども は、自分の席で自由 にお絵かきをする。	②登校してきた子ども は、自分の席で自由 にお絵かきをする。	③登校してきた子ども は、自分の席で自由 にお絵かきをする。	④登校してきた子ども は、自分の席で自由 にお絵かきをする。	⑤登校してきた子ども は、自分の席で自由 にお絵かきをする。
・お絵かき、お絵かき のルールを学ぶ。自分 のことは自分でしよう とする意欲を育てる。			⑥登校してきた子ども は、自分の席で自由 にお絵かきをする。	⑦登校してきた子ども は、自分の席で自由 にお絵かきをする。	⑧登校してきた子ども は、自分の席で自由 にお絵かきをする。	⑨登校してきた子ども は、自分の席で自由 にお絵かきをする。	⑩登校してきた子ども は、自分の席で自由 にお絵かきをする。
・授業中に必要なよう に絵カードや写真等を見 る。			⑪登校してきた子ども は、自分の席で自由 にお絵かきをする。	⑫登校してきた子ども は、自分の席で自由 にお絵かきをする。	⑬登校してきた子ども は、自分の席で自由 にお絵かきをする。	⑭登校してきた子ども は、自分の席で自由 にお絵かきをする。	⑮登校してきた子ども は、自分の席で自由 にお絵かきをする。



学級活動・生活

- ・かばん、くつの入れ方（場所・向き）
- ・引き出しのしまい方（場所・方法）
- ・傘置き場の確認（場所・たたみ方）
- ・お便りのしまい方（折り方・片付け）
- ・トイレの使い方（待ち方・立ち位置・流し方）
- ・教室での過ごし方

スタートカリキュラムとそれを基にした活動



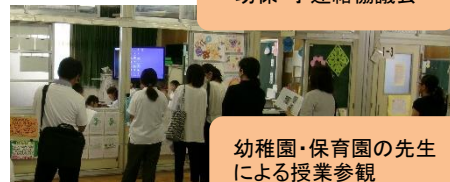
成果

週ごとに設定したテーマに沿って、学校生活をスタートさせた。昇降口での迎え入れは、心が和むように担任だけでなく、6年生の力も借りた。登校してからの活動は自分できるように、毎日絵や図で示し、掲示を行った。給食準備や掃除なども学級指導の時間をとってわかりやすく説明すると同時に習慣化するように毎日の掲示を行った。学校の学習にスムーズに取り組めるように、国語や生活科、音楽等の総合的指導を取り入れ徐々に1科目45分の授業へと導いた。

具体的な取組の内容(2)



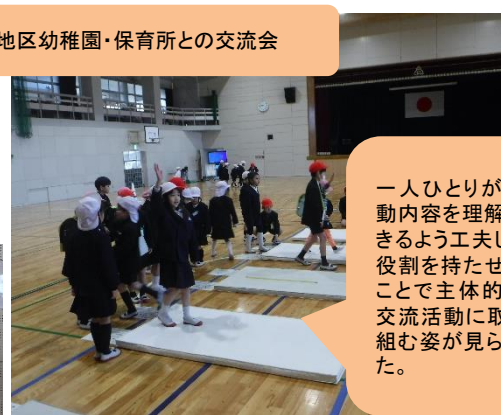
幼保・小連絡協議会



幼稚園・保育園の先生による授業参観



平川地区幼稚園・保育所との交流会



一人ひとりが活動内容を理解できるよう工夫し、役割を持たせることで主体的に交流活動に取り組む姿が見られた。

成果

7月に本校に入学した児童の出身幼稚園・保育園の教職員に授業公開を行った。その後、入学後の児童の様子を紹介したり、入学前の児童の様子を個別に伺ったりして、児童理解を深めてもらった。また、入学までに身に付けてほしい力などについてのお願いもできた。11月には、鴻南ブロックの幼保・小連絡協議会があり、小学校と幼稚園・保育園との情報交換ができた。後に幼稚園が作成している入学に向けてのアプローチプログラムについての検討も行った。

2月には、幼稚園児や保育園児と1年児童との交流を行った。また幼稚園、保育園職員から入学児童についての情報提供もいただいた。これらをもとに、より細かな個別の支援を行い、小1プロブレムの解消へとつなげていきたい。

小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

下関市立安岡小学校

学年全体での指導体制と交流活動の充実

学年共通の指導体制や内容、様々な交流活動を通して、安心感や期待感をもって学校生活をスタートさせる。

学年の連携と共通の指導体制



ろうかは、**みぎがわ**を あるきます。

年度初めに、電子黒板の画面を見せながら廊下歩行についてのルールを説明し、子どもたちが安全を意識して歩けるようにします。

トイレのスリッパの置き方は、「かかと ぴたっ！」です。気持ちよく置かれた状態の写真を示します。



給食配膳(食器等の置き方)について、掲示物を作成し、給食時には、いつでも参考にすることができるようになります。

成 果

○入学後の早い段階で、写真や絵、動画を示しながら学年共通の説明をすることで、様々なルールを子どもたちに繰り返し伝えることができた。

○学年全体で、一貫して共通の指導をすることで、全クラス(5クラス)が、同じ歩調で習慣付けたり、ルールの徹底につなげたりすることができた。

幼保、異学年、異年齢との交流活動の充実



幼稚園との交流会で、園児と触れ合う様子です。園児との交流を通して、自分達の成長にも気付くことができます。

2年生が作った「おもちゃランド」に招待されました。2年生が優しく遊び方を教えてくれます。来年は自分達(現1年生)が案内する番です。



地域の方を先生として招き、昔遊びを教えていただきました。どの遊びも子ども達が楽しそうに取り組む様子が見られました。

成 果

○人と出会い関わることで得られる喜び、学校生活の楽しさなどに気付くことで、希望をもって学校生活初年度をスタートさせることができた。

○異年齢との交流活動を通して、自分の成長に気付いたり憧れの気持ちを抱いたりし、自信や意欲を高めることができた。